

考古資料は語る!

美作津山の古墳文化

~考古資料から津山の古墳文化を紐解きます~

会期

令和6年 10月12日(土)

~12月15日(日)

会場

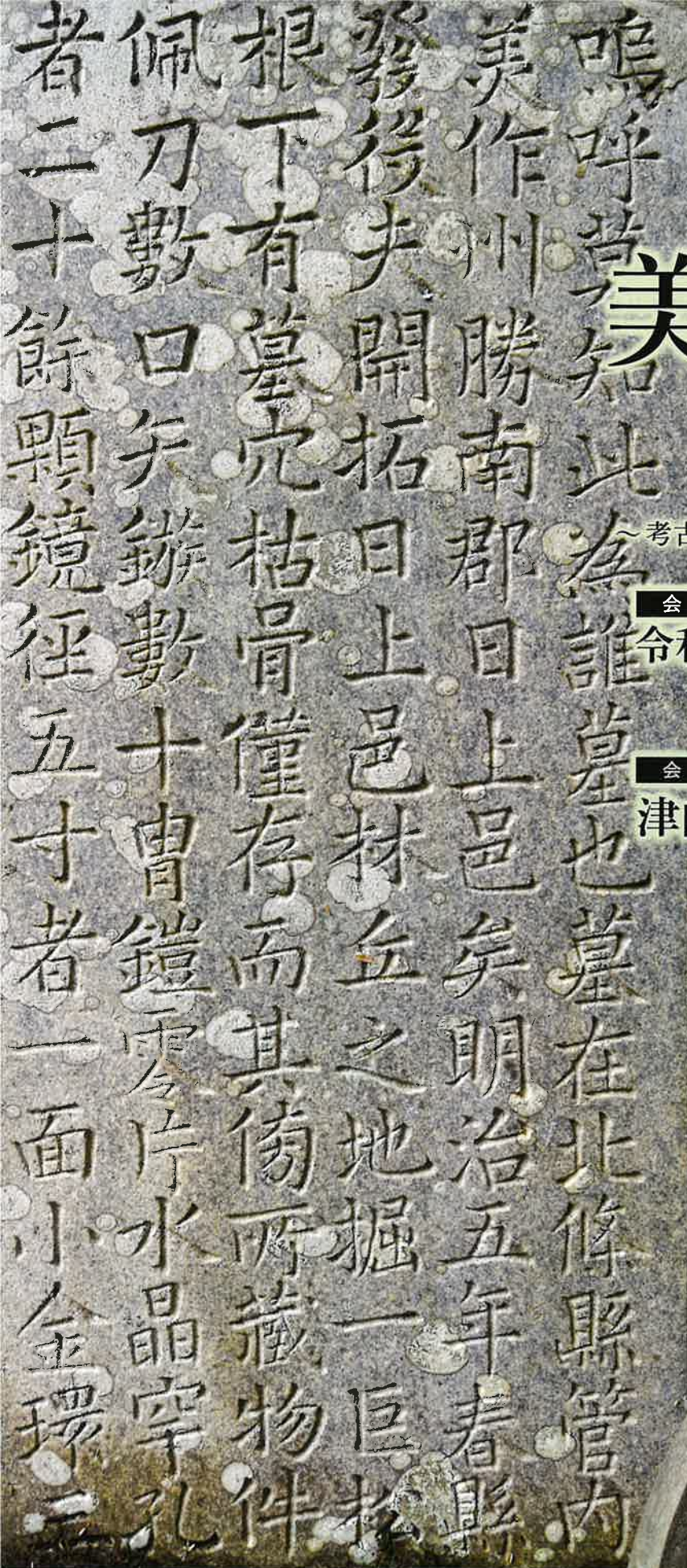
津山郷土博物館 3階展示室

開館時間：9:00~17:00 (入館は16:30まで)

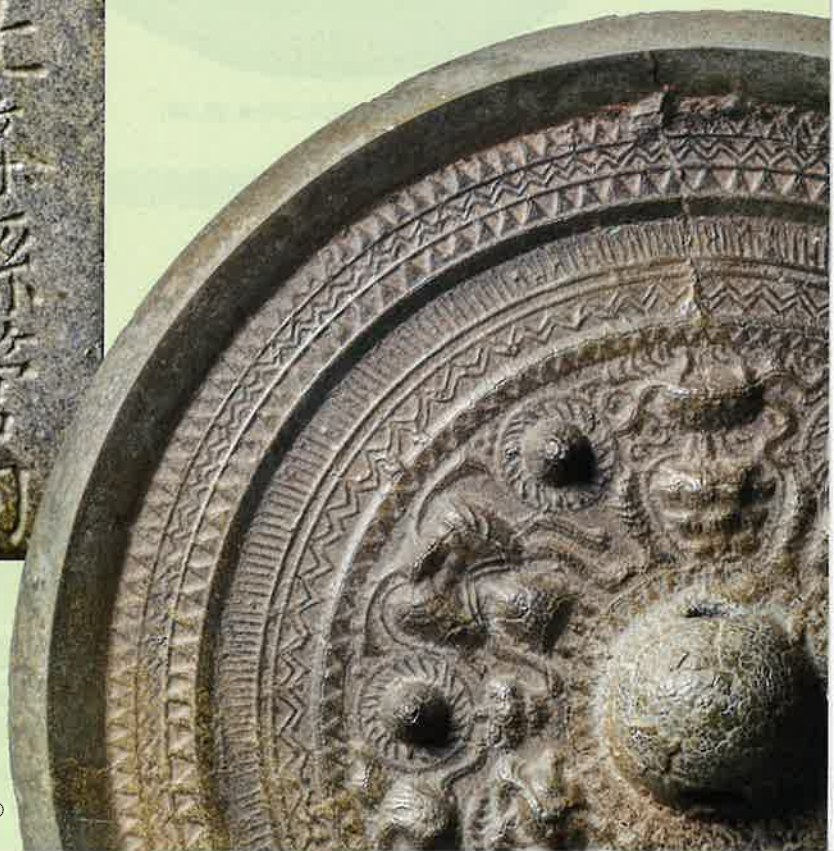
休館日：10/15・21・28、11/5・11・18・25・26、
12/2・9

入館料：一般300円(240円)、
高校・大学生・65歳以上200円(160円)

※ () 内は30名以上の団体料金



古冢碑部分



津山郷土博物館

Tsuyama City Museum



〒708-0022 岡山県津山市山下92番地
TEL.0868-22-4567



古冢碑

美作の古墳研究は、市内日上にある明治6年に建てられた古冢碑までさかのぼり、碑文には開壙時に鏡（径五寸）などが出土したことが書かれています。美作国は備前国からわかれてできました。この謎を解く鍵は前時代の古墳文化にあるのではないかと考えます。美作の中心であった津山には、美作最大や最古の前方後円墳をはじめ、陶棺といった独特の棺桶が普及するなど、独自の文化圏を形成していたことがうかがえます。貴重な考古資料から美作津山の古墳文化を紐解きます。



須恵器（長畝山北9号墳、津山弥生の里文化財センター蔵）



銀象嵌頭椎大刀把頭（柳谷古墳、津山弥生の里文化財センター蔵）



三角縁神獸鏡（田邑丸山2号墳、個人蔵）

主な展示品（○は岡山県指定、◇は津山市指定重要文化財）

- ・田邑丸山2号墳（土師器・鏡）
- ・奥の前1号墳（円筒埴輪、土師器、鏡ほか）
- ・長畝山北古墳群（須恵器、金環ほか）
- ・日上畝山古墳群（円筒埴輪、人物埴輪、須恵器ほか）
- ・柳谷古墳（○銀象嵌頭椎大刀把頭、○同鞘尾金具、○須恵器）
- ・殿田1号墳（◇銅鏡）、荒神西古墳（◇銅鏡）

記念講演会

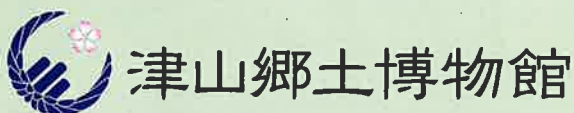
演題／美作津山の古墳文化の特質

講師／くらしき作陽大学音楽学部教授 澤田秀実氏

日時／令和6年11月16日(土) 13:30～15:00

会場／津山圏域雇用労働センター

講演会終了後、ギャラリートークを開催します。



津山郷土博物館

Tsuyama City Museum

〒708-0022 岡山県津山市山下92番地
TEL.0868-22-4567 HP <http://www.tsu-haku.jp>
E-mail tsu-haku@vtv.ne.jp



公式HP

アクセス

- ・JR津山駅から北へ徒歩15分
- ・中国自動車道津山・院庄ICから車で15分

ACCESS MAP

